

令和5年度 通年・広域観光推進特別委員会 行政視察報告書

報告者：委員長 安田佳世
副委員長 上野公悦

1 視察日

令和5年11月7日（火）～8日（水）

2 参加委員

安田佳世（委員長）、上野公悦（副委員長）、
高山ゆう子、丸山章、杉田勝典、飯塚義隆、武藤正信

3 視察先

石川県七尾市、（公社）石川県観光連盟、Nigiwai Space 新保屋（石川県金沢市）

4 調査事項

月日	視察先	調査事項
11月7日（火）	石川県七尾市	七尾城の保存活用及び観光振興に向けた周辺整備の取組について
11月8日（水）	（公社）石川県観光連盟	いしかわ観光創造塾における観光業界を担う人材育成の取組について
	Nigiwai Space 新保屋 （石川県金沢市）	町家を活かした観光まちづくりの取組について

5 所感

●石川県七尾市

七尾城は当市の春日山城と同様の山城である。観光資源としてどのような保存活用を行い観光客を呼び込んでいるのか大変興味がある点だった。七尾城史資料館では、七尾城跡全体の再現CGを視聴した。城郭考古学者の千田嘉博先生の監修のもと、文化庁の支援推進事業により平成26年に制作、当時の様子を324万円程の製作費をかけてCGにより想像復元して、訪れた観光客が楽しめるようにしている。非常によく制作されており、このCGを見た後、七尾城を実際に散策することで全体像をイメージしながら本丸に向かうことができる。要所には、CGによる建物写真が紹介されており、訪れた人にとっては、七尾城の歴史に思いを巡らせながら散策ができ、おもてなしの心につながる。令和5年

度、当市の春日山城跡は観光庁の「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本のレガシー形成事業」に採択されたが、七尾城のようにCGを制作し、観光客誘致に生かしてもよいのではないかと感じる。また、令和2年度に策定された「史跡七尾城跡整備基本計画」では、「七尾の由来となった戦国時代の城郭を整備する」を基本理念に、令和3年度から12年度までの10か年の具体的な整備計画が示されており、これに沿って整備された七尾城入口の登山口駐車場は、よく整備されていた。城下を整備してほしいという市民の声に向き合い、その結果として策定された計画に基づいて、観光素材、文化遺産である七尾城が地元住民に愛され、訪れた観光客に喜ばれるような周辺整備も含めた系統的な整備が進められている。七尾城跡を観光資源としてしっかりと磨き上げ活用するために、「保存活用計画」に基づき整備検討委員会を立ち上げ、市の教育委員会を中心に、市・県や関係機関、団体等と連携し、山城である七尾城に観光客を呼び込むための工夫を共に考えていく取組は、当市でも積極的に学ぶことが重要だと感じる。

●（公社）石川県観光連盟

石川県では、国内だけではなく、外国人旅行者の増加や旅行者の趣味・嗜好の多様化など環境の変化に伴う旅行そのものの質の変化に対応するために、企画・実行力を備え、次代の観光を担っていく人材の育成が必要となり、「いしかわ観光創造塾」をスタートさせた。ここには、観光産業の幹部候補や他業界から観光産業への参入を目指す者、伝統的な芸術・文化、伝統工芸学芸員などが塾生として参加しており、受講生の平均年齢は、40.1歳で、男性の割合は68%、地域別では金沢地域が約7割を占めている。地元の観光は地元で作るという意識が表れていると感じる。

当市では、通年観光に向けた取組を進めているが、特定地域、特定観光素材の磨き上げとそこへの予算の集中が目立つ。観光素材が歴史的に存在している石川県とは違うものの、観光専門家だけではなく市民や様々な関わりを持った人たちとの知恵や力の出し合いが必要になってくる。その意味でいしかわ観光創造塾を参考に、当市の今後の観光計画においても、「人材育成」の重要性を認識し具体的な取組を示していくことが必要なのではないか。

●Nigiwai Space 新保屋（石川県金沢市）

視察の最後に訪れた「新保屋」は、金澤町家のリフォームに当たってコワーキングスペース、レンタルスペース、台所など、それぞれの持ち味を生かす工夫が施されていた。町家の特徴と機能性を組み合わせた仕上げ、外観は昭和の古き風情を実感させてくれるなど特徴をとらえた観光のまちづくりを進めている点では、当市の雁木町家の保存活用にも有効であると考えられる。